

受付番号		課題番号	
------	--	------	--

自由学園最高学部 2027 年度研究奨励金 申請書

自由学園最高学部
最高学部長 高橋 和也 殿

応募要項にもとづき、奨励金を申請します。

申請日 20XX 年 XX 月 XX 日

ふりがな	じゅう たろう	所 属 と 学 年	
申請者氏名	自由 太郎	最高学部	X 年
連 絡 先	住所 〒 000-0000	東京都東久留米市学園町 1-8-15 記念学寮	
	自宅電話 000-000-0000	P C メール	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX@xxx.xxx.ac.jp
	携帯電話 000-000-0000	携帯メール	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX x@xxx.xxx.ne.jp

1 研究課題	研究題目をここに書いてください。 —副題はここ。なければ横棒ごと削除してください—	2 助成申請額（いずれかに丸）	
		☐ 50,000 円	
		☐ 100,000 円	
		☐ その他 () 円	

3 研究内容

どのような研究を行うかを、研究の動機や目的などとあわせて説明してください。可能ならば、これまでの準備状況や具体的な研究計画（何をいつまでにどのように行うか）も述べてください。

このスペースに研究内容を記載してください。文章量に制限はありませんので、回答スペースが足りない場合はスペースを広げてください。ただし、長ければよいというものではありませんので、審査員が読みやすいよう、簡潔にまとめてください。

専門用語を使いすぎないようにして、審査員がイメージできる言葉を意識しましょう。箇条書きや図表などを効果的に用いて、レイアウトも工夫するのもよいでしょう。

なお、記入にあたって、この説明文は削除してください（以降の項目でも同じ）。

4 研究意義

研究の学術的な意義、社会的な効果、あるいは自由学園らしさ、などについて述べてください。

このスペースに研究意義を記載してください。記入にあたっては、「募集要項」の「審査基準」を意識してください。皆さんはまだ成長過程にある学生です。すでに成果が出ている研究について述べるのではなく、これから取り組もうとする研究について述べるのですから、研究に対する真摯な思いをしっかりと熱意をもって文章化してください。これは単なる精神論ではなく、なぜこの研究に挑むのかという必然性と研究をやり抜く強い動機付けを論理的に伝えることが肝要です。

5 研究指導者氏名（職業・学位・関わり方など）

このスペースに研究指導者を記載してください。研究が円滑に計画・遂行できるよう、必ずどなたか適切に指導できる方をたててください。原則的に自由学園の教員とします（最高学部の教員が望ましい）。採択された場合、指導者の方には経費の使用状況もご確認いただくことになりますので、申請書の提出にあたっては、必ず了解を取ってください。

記入例：
遠藤敏喜 最高学部教授・博士（理学）
・研究ノートを作成して、毎月進捗を報告するかたちで、助言をいただく
・平素の質問などは Teams チャットを通して行う

6 研究経費

申請額の積算根拠と具体的な支出計画を説明してください。

このスペースに研究経費を記載してください。経費とは、研究遂行上かかる費用のことで、ここにはその内訳と役割を具体的に述べることが要求されます。

費用の使途を「旅費 10 万円」や「書籍 5 万円」のように書いてしまうと、審査員はその必要性和妥当性を判断できません。「ここまで考え抜いた研究ならば、きっと成果を出せる」と期待したり、「ここまで具体的にイメージできているならば、申請者は大きな成長を遂げるに違いない」と応援したりできるような申請書となるよう、記載内容をよく練りましょう。

なお、採択された場合、研究期間中の領収書やレシートは、報告書提出の際に照会することがありますので、処分せずに手元に残しておいてください。